

技術サービス

中国で質・量とも拡充

ポリプラ 現地顧客向け強化

ポリプラスチックは、中国・上海市に置く技術サービス(TS)拠点の機能強化に向けて、ナショナルスタッフを中心とした増員に加え、新技術習得などに向けたスタッフの教育により、量・質ともにレベルアップする。近年は自動車、電気・電子関連などのハイエンド領域でも中国ローカル企業が世界市場で台頭し、より信頼性の高い素材を求める方向。これをビジネスチャンスとして捉え、TSの強化・拡充などによってローカル企業へのアプローチを強化し、顧客層を拡大していく。

同社はエンブラの世界強化を図るが、より市場規模が大きく、世界トップ模範的顧客向けには中国ローカル顧客への対応が重要。近年は自動車、電気・電子関連などのハイエンド領域でも中国ローカル企業が世界市場で台頭し、より信頼性の高い素材を求める方向。これをビジネスチャンスとして捉え、TSの強化・拡充などによってローカル企業へのアプローチを強化し、顧客層を拡大していく。

生分解性樹脂用耐久性向上剤

安全性高い製口品投入

日清紡ケミ

日清紡ケミは、ポリアリレート樹脂の耐久性向上剤を開発し、安全性を高めた製口品を投入した。食糧包装材など、安全性が求められる用途での生分解性樹脂への適用が期待される。この生分解性樹脂は、従来の生分解性樹脂に比べて、耐久性が向上し、長期にわたって使用できる。また、製口品の投入により、生産性が向上し、コスト削減が期待される。

高融点PA めっきグレード開発

東洋紡 電磁波遮蔽材向け提案

東洋紡は、めっき密着性を良好な高融点ポリアラミド(PA)樹脂「ハイロアミド」の新グレード「MJ-376KD」を開発した。高い剛性と耐熱性を併せ持つ電磁波シールド材料として、自動車のエンジンコンロッドユニット(ECCU)ケースやバッテリーケース、コネクタの金属代替用に提案する。新グレードは、融点376℃、曲げ強度は1300MPa、伸びは15%と、従来のPA樹脂に比べて、剛性と耐熱性が大幅に向上している。また、めっき密着性も向上し、電磁波シールド性能も向上している。

差別化でシェア防衛

ニーズ対応を強化

藤森工業グループ



藤森工業は、グループ各社のフジモリ産業と連携し、トンネル防水シート「Fシート」を開発した。従来の防水シートに比べて、施工性が向上し、コスト削減が期待される。また、防水性能も向上し、トンネルの耐久性が向上している。このシートは、トンネルの内壁に貼付され、雨水の浸入を防ぐ。また、トンネルの内壁を保護し、劣化を防ぐ効果もある。

鉄道、船舶用を拡大

東芝は、安全性の高いLTO電池を開発し、鉄道や船舶への適用を拡大する。この電池は、従来の電池に比べて、容量が向上し、寿命も長くなる。また、安全性も向上し、過充電や過放電による発火のリスクが低くなる。この電池は、鉄道や船舶の動力源として、幅広い用途で利用される。また、船舶用の電池として、長時間の航行をサポートする。

宿泊施設に水の空間

三菱ケミカルは、浄水器や炭酸泉設備を開発し、宿泊施設への導入を促進する。この設備は、浄水器として、水道水の浄化をサポートし、健康な水を供給する。また、炭酸泉設備として、天然の炭酸水を供給し、リラックス効果をもたらす。この設備は、宿泊施設の付加価値を高め、顧客満足度を向上させる。

海洋生分解性を向上

三菱ケミカルは、海洋生分解性を向上させたバイオプラスチックを開発した。このプラスチックは、海洋環境で自然に分解され、環境負荷を軽減する。また、従来のプラスチックに比べて、強度も向上している。このプラスチックは、海洋プラスチックごみの削減に貢献する。

消毒液向けにIPAを増産

三菱ケミカルは、消毒液向けにIPAを増産する。このIPAは、新型コロナウイルス感染症の予防に効果的である。また、他の感染症の予防にも効果的である。このIPAは、医療機関や公共施設などで広く利用される。

微細配線形成

芝浦工業大学は、微細配線形成技術を開発した。この技術は、従来の技術に比べて、配線の幅がさらに細くなり、高密度の配線が可能になる。また、配線の形成も簡単になり、生産性が向上する。この技術は、半導体やディスプレイなどの分野で広く利用される。

CO2由来化学製品

NEEDOは、CO2由来の化学製品を開発した。この製品は、CO2を原料として製造され、環境負荷を軽減する。また、従来の化学製品に比べて、コストも削減できる。この製品は、プラスチックや塗料などの分野で広く利用される。

消毒液向けにIPAを増産

三菱ケミカルは、消毒液向けにIPAを増産する。このIPAは、新型コロナウイルス感染症の予防に効果的である。また、他の感染症の予防にも効果的である。このIPAは、医療機関や公共施設などで広く利用される。

人口炭酸泉製造装置

三菱ケミカルは、人口炭酸泉製造装置を開発した。この装置は、天然の炭酸水を人工的に製造し、炭酸泉として供給する。この装置は、天然資源に依存しないため、持続可能な製造が可能になる。また、炭酸泉の製造コストも削減できる。この装置は、観光地やリゾート施設などで広く利用される。

LiB関連の材料は多

LiB関連の材料は、多岐にわたる。この材料は、LiB電池の性能を向上させるために必要である。また、LiB電池の寿命も延長させる効果がある。この材料は、自動車やスマートフォンなどの分野で広く利用される。

消毒液向けにIPAを増産

三菱ケミカルは、消毒液向けにIPAを増産する。このIPAは、新型コロナウイルス感染症の予防に効果的である。また、他の感染症の予防にも効果的である。このIPAは、医療機関や公共施設などで広く利用される。

問題

エコは、この星の需要だ。世界はエコタイヤへはきかえる。地球環境のための技術が、新たなビジネスを生んでいる。エコタイヤは、燃費性能を向上させ、CO2排出量を削減する。また、タイヤの寿命も長くなる。このタイヤは、自動車メーカーや消費者から高い評価を受けている。



エコタイヤの燃費性能を支える旭化成のS-SBR

シンガポールで生産を開始しました。環境への負荷を減らす研究が世界中で行われている。そこで生まれた新たな技術は、環境を改善するだけでなく、実は新たなビジネス・産業につながっている。その代表例がエコタイヤである。タイヤの転がり抵抗を小さくすれば、燃費性能は向上する。しかし同時に、しっかり止まるブレーキ性能も忘れてはいけない。そんな二律背反の問題に応えたのが、高機能合成ゴムS-SBRである。旭化成のS-SBRは、最適化された分子構造により二つの性能をバランスよく高め、エコタイヤに欠かせない素材として世界中のタイヤメーカーに供給されている。今、この星を走る10億台を超えるクルマ。そのすべてがエコタイヤへはきかえた時、環境への影響は極めて大きい。そして、ビジネスと経済成長への影響も大きい。旭化成は、そのリーダーシップをとってゆくと思う。昨日まで世界になかったもの。詳しくは www.asahi-kasei.co.jp

AsahiKASEI

昨日まで世界になかったものを。



人は、無限のエネルギー。

出光昭和シェル 出光興産株式会社

AsahiKASEI

昨日まで世界になかったものを。